

一、およろこび間近い

皇室御一家

——やわらかい秋の日ざしの中で皇居の新宮殿建設が急ピッチ——

天皇皇后両陛下はこのほど建設ふりをごらんになり、作業員たちにねぎらいの言葉をかけられました。この新宮殿、四十三年春には完成、皇居のみどりに近代的な美しさをそえることでしょう。

一方、ご出産の近づいた美智子さまは、安産を祈る着帯式を終え、産着などを編まれたり、ミシンかけをなさるなどお元気にご出産の準備をされています。

一、レーサーただ今猛練習

——鈴鹿サーキット——

スピード・レースのメッカ三重県の鈴鹿サーキットでは十月二十三、二十四日、両日にわたって第三回日本グランプリ・ロード・レースが開かれます。

外国からも選手が出場するとあってすでにサーキットでは選手達が練習にはげんでいます。

レースは百キロを越す猛スピードとカーブや起伏の多い難コースを乗りこなす高度の技術があつて初めて栄冠が得られるという難かしいもの。当然危険もつきまといます。

このスリルとスピードに満ちたレースは今年の秋の話題をさらいます。

一、より強く、よりたくましく

オリンピックからちょうど一年、以来、日本にスポーツ熱が拡がりました。

昨今、子供達の身体の上が目立ちます。しかし、相変わらず勉強ムード。これでは子供が可哀想と、オリンピックの小野夫妻が始めたスポーツ普及会は、世の親達がガリ勉一辺倒には問題があると悟ってか大盛況です。また目黒区では教育委員会の旗入りで剣道教室です。豆剣士の中でも五歳の少年は一人っ子。

母親が気ままさん味に一太刀浴びせんと通わせています。大人相手に思い切りシナイをふりまわせば、気分爽快というところ、あるボクシングジムでは豆ボクサーが、直ぐにプロに結びつける世の大人達に反捉して一汗かけば12ポンドのクラブをふりまわしてのスパリーングは不屈魂を養うのに絶好。

また、都内の小学校はラグビーの体育。地べたを這いずりまわるスクラムに思う存分子供の真価を見つけているよう、やはり子供は野において縦横無尽にあればさせた方がよいようです。